

## 活動レポート

### ■学芸員室より

#### 「第46回地質観察会」から

吉田 裕生 (主任専門学芸員)

今年度第2回目の地質観察会(通算で46回)は、9月14日(日)に田野畑村教育委員会と共催で、田野畑鉱山で開催されました。講師は鉱物鑑定の人者であり、健全な鉱物趣味の普及に活躍されている鉱物科学研究所長・堀 秀道先生を東京からお迎えしました。

田野畑鉱山は昭和48年に閉山になったマンガンの鉱山ですが、付近には現在でも掘り出した岩の屑(ズリ)が残されており、さまざまなマンガンの鉱物を観察することができます。またこの鉱山からは、世界で初めて新種として認定された鉱物(新鉱物)がこれまでに5種類も見つかっており、全国の鉱物愛好家や研究者の間では注目されている鉱産地です。

当日は39名の方の参加があり、午前中に鉱山跡で観察と採集、午後には田

野畑村緑地等管理センターで堀先生による鉱物の鑑定会と講演が行なわれました。参加者の中には採集経験豊かな鉱物愛好家の方やはるばる愛媛県から駆けつけた方もあり、地質観察会も内容の濃い“全国的”な催しになったことを感じさせられました。(手前味噌かな?)

小川にかかる丸木の一本橋をロープをたよりに渡る小さなスリルを味わってから山道を登り、鉱山跡ではズリをハンマーで割って鉱物を探します。採集物は堀先生に鑑定していただきました。美しいピンク色をしたパラ輝石などの代表的なマンガン鉱物はもちろん、新鉱物の神津閃石・ソーダ南部石や稀産の含マンガンエジリン・セラン石など



も大多数の方が採集することができました。

台風一過の晴天のもと心地よい汗をかきながら、今回の観察会のテーマつまり目標の「新種の鉱物を探そう」は達成され、充実した一日を過ごすことができました。

### ■解説員室より

#### 「やってみ体験！」について

佐藤 貴子 (解説員)

当館では、毎週日曜日の午後1時から「体験教室～みんなでためそう」を行っています。この教室には、地質・考古・歴史・民俗・自然・文化財科学などに関連するさまざまなプログラムがあります。指導は私達解説員が行い、「毎回わかりやすく楽しい指導を」と心がけています。参加対象は小学生以上、定員は20名。少しでも博物館資料に関心を持っていただきたい、という思いから始めたもので、これまでに多くの方の参加をいただいています。

この体験教室に、団体を対象とした「やってみ体験！」というものがあることを皆さんはご存知ですか?これは「ぜひ団体向けの体験教室を!」というお客様からのご要望に少しでもお答えしようと、昨年より実施しているものです。今回は、その内容について、少しご紹



介します。

「やってみ体験!」の参加対象は、10~25名の小学生以上の団体です。これまでは、子供会行事でのご利用や、海外からの留学生団体のご参加などがありました。

実施プログラムは、「土偶づくり」「はんこづくり」「ろうそくづくり」「ちょんまげかつら」など、9つのものからお選びいただけます。どのプログラムもユニークで、難易度も小学校中学年程度に設定しており、それほど無理もなく楽しみながらお作りいただけると思います。

実施日と時間は、土・日・祝日を除

いた希望される時間です。この教室をご利用の際には、予定している月の2ヶ月前までに文書・電話などでお申し込みください。なお、1ヶ月に2団体までの先着申し込み順となっておりますので、ご了承ください。

「やってみ体験!」は、団体内でのよいコミュニケーションの場となっているようです。「どうやるの?」「こうやってみようよ!」など、活発なやりとりがみられます。

また、プログラムによっては日本文化に深く関係するものがあり、海外の方にも大変喜ばれています。

多くの方が体験教室に参加し博物館への関心を高めてくださっていることは、とても嬉しいことです。今後も皆さんに身近な体験教室を目指していきますので、ぜひお気軽にご参加ください。お待ちしております。